

News Release

2013年4月1日

## 自分の使命を強く意識し、仕事の幅を広げよう

太陽誘電(株) 代表取締役社長 綿貫 英治

皆さん、入社おめでとうございます。

ここ数年間、リーマンショックやギリシャ財政危機など、世界経済を脅かす大きな出来事によって長い不況に陥り、日本は東日本大震災という大きな国難に見舞われました。今、為替環境が円安に向かうなど、日本の経済環境は良い方向に進み始めましたが、まだ楽観視はできません。

日本の産業も太陽誘電も、一切の甘えは許されないところにいるということを心にとどめていただき、会社も皆さんもグローバルな競争の中に置かれていることを心に刻みつけてください。通常の範囲の努力では、生き残れない厳しい時代となっているのです。

そのような環境の中、私は太陽誘電の構造改革を決断し、実行しました。それと同時に、成長戦略を策定しました。現在、構造改革と成長戦略という両輪は順調に進んでいます。そして、これから太陽誘電は、世界No. 1の商品を開発し、世界No. 1の「ものづくり」の力で、世界の電子部品の市場で勝負することを強く目指します。

私が皆さん一人ひとりに望むのは、配属された場所で自分に与えられた仕事を身に付け、その仕事のプロになるということはもちろんですが、自分の仕事の課題を積極的に見つけだし、その問題を解決する力を養うことです。それには広い知識を身に付けなければなりません。これからは社員の個々の力量が、会社の成長により強く反映されます。指示待ち人間はだめだと私は社内に向け、常に言っています。新入社員の時から、与えられた自分の使命は何かを強く意識し、仕事の幅を広げていただきたいと思います。

太陽誘電は、会社とともに成長する人材、そして、困難に果敢に挑戦する人材を必要としています。皆さんがこれから仕事をしてゆくうえで大事なキーワードは「グローバル化」と「スピード化」です。さらに、私は太陽誘電が、お客様に「感動を与える」企業となることをスローガンとしています。皆さんもぜひ、仕事をするうえで、お客様に、他の部門の人に、海外の現地の人たちに、ぜひ「感動を与える」仕事をする人物になることを目指していただきたいと思います。